

平成25年度の主な取組の実施状況

1 大柱1 魅力ある観光地の形成

(1) 地域連携型観光資源開発支援事業

市町村や地域の観光関係団体・事業者等と連携し、埋もれた観光素材の発掘から開発・商品化まで段階に応じた支援を継続して展開することにより、「癒し」「学習」「健康」「食」など多様な観光ニーズに対応した新しい観光資源を開発するとともに、こうした観光資源を活用した旅行事業者等による「着地型」の旅行商品化を促進した。

【主な取組】

- ア 着地型観光旅行商品開発講座の実施（2回×2会場）
- イ 商品化支援<着地型旅行商品づくり・販売講座の実施（3回）>
- ウ モニターツアーの実施（2回）

(2) 新たな観光の核づくり

横浜・鎌倉・箱根に次ぐ、海外にも強力に発信できる魅力的で新たな観光地を創出するため、「新たな観光の核づくり構想」として認定した3地域（城ヶ島・三崎地域、大山地域、大磯地域）について、国内外に対する積極的なPR活動ほか、構想の早期実現に向けた様々な支援を行った。

【主な取組】

- ア 大山地域及び大磯地域における推進組織の整備
- イ 3地域における基本計画及び25年度計画の策定
- ウ 大山地域及び大磯地域におけるキックオフイベント開催（大山地域：8月、大磯地域：11月）

(3) 周遊型観光戦略”ぐるっと湘南”の推進

「新たな観光の核づくり構想」に認定した大山地域及び大磯地域の観光振興に資する取組を重点的に実施するとともに、これらの拠点を含む湘南地域全体の魅力アップを図り、管内の周遊性を高める観光振興策を展開した。

【主な取組】

- ア 伊勢原市観光協会・伊勢原市との連携による「柏尾通り大山街道ウォーク」の実施（5回）
- イ 外国人観光客のための湘南地域観光多言語ガイド作成（英語、中国語、韓国・朝鮮語 8,000部）

(4) 箱根ジオパーク推進事業

ジオパーク活動を通じて、箱根火山及び周辺地域の地質資源を地域が一体となって保全するとともに、新たな観光資源や研究教育活動、地場産業の振興に活用した。

【主な取組】

- ア 総合案内板の設置（小田原、箱根）
- イ ジオツアーの実施（3回）
- ウ ジオサイト周辺の環境美化活動の実施（2回）
- エ ガイド養成講座の開催（3回）

(5) 水の観光の推進

本県の川・湖・海などの豊かな水の観光資源を活用し、より魅力ある地域づくりを展開するため、「水」をキーワードとした観光事業を実施した。

【主な取組】

- ア 水の観光パンフレットの作成（25,000部）
- イ 水の観光カレンダーの作成（5,000部）
- ウ 水の観光ツアーの実施（12企画22コース）

(6) 商店街観光ツアーの推進

地域ブランドを確立して、県内外から人を引きつける魅力ある商店街を創出するため、幅広いネットワークや地域資源を活用して、商店街を中心に更なる活性化を進める地域団体が行うモデル事業に集中的に支援するとともに、旅行事業者等と商店街が連携した商店街観光ツアーを実施した。

【主な取組】

- ア 16商店街に対する補助
- イ 商店街観光ツアーの実施（3回）

(7) 文化芸術によるにぎわいの創出 - 「マグカル」の展開

県の拠点施設（県民ホール本館・神奈川芸術劇場＜K A A T＞・県立音楽堂・青少年センター）を中心とした文化施設、観光スポット、商店街、各種イベントなどの資源を活用し、文化芸術の魅力を活かしたまちの賑わいを創出し、地域を活性化する、マグネット・カルチャー（マグカル）事業を展開した。

【主な取組】

- ア マグカル・テーブルの開催（2回）
- イ マグカル.ネット（マグカル ドット ネット）による情報発信
- ウ マグカル劇場等開催（31回）

(8) 医食農同源の取組みとの連携の推進 (オーダー型農業推進事業)

大型農産物直売センターにおける、地域の食材を活用した医食農同源レシピによる試食・PRの取組を紹介することで、医食農同源の理解促進を図った。

【主な取組】

- ア オーダー型農業推進会議の開催
- イ 普及啓発資料の作成・配布 (5,000部 × 2種類)

(9) 共同観光キャンペーン推進事業

県、市町村、各観光協会、民間事業者が連携して、観光キャンペーンを実施することによって、観光振興への気運やPR効果を一層高め、県内外からの観光客の増加を図った。また、観光振興に関する表彰制度「かながわ観光大賞」により、地域における観光振興の取組を促進した。

【主な取組】

- ア 観光キャンペーンの実施 (高速道路会社と連携した観光キャンペーン、包括協定を活用した観光キャンペーン等計14回)
- イ かながわ観光大賞の実施 (応募件数 : 17件、表彰団体 : 5団体)

(10) 広域連携による観光客誘致促進事業

三浦半島地域の観光振興のため、鎌倉における世界文化遺産登録に関連した三浦半島・鎌倉情報の発信、外国人観光客向け中国語版観光マップの作成等を行った。

【主な取組】

- ア 三浦半島を紹介する中国語版観光マップの作成 (20,000部)
- イ 「おすすめ！三浦半島ガイド&マップ」 (日本語版、英語版、ハンゲル版、中国語版) の観光施設、宿泊施設等への配架 (30,366部)

(11) 旅たび相模 (体験) 観光振興事業

豊かな自然のもとに、“水”や“緑”のアウトドア拠点など多様な地域資源が存在する県央地域の特性を生かした体験・交流型観光の掘り起こしや活動促進を図った。

【主な取組】

- ア 体験・交流型観光推進検討会の開催 (2回)
- イ 体験・交流型観光調査研究業務の実施
- ウ 多様な観光プロモーションの実施 (観光ポータルサイト「旅たび相模 - 丹沢・相模 観光ナビ - 」による情報発信等)

(12) 県西地域ブランド力推進事業

県西地域の知名度の向上を図り、地域の活性化や交流人口の増加をめざすため、県西地域の地域資源を生かしたイベント実施を支援し、県西地域ブランドの情報発信を行った。

【主な取組】

- ア 「神奈川チェンソーアート競技大会」の開催(参加者約2,500名)
- イ 「県西地域ブランド戦略セミナー」(参加者38名)及び「県西地域ブランド応援フェア(来場者1,000人以上)の開催
- ウ 「ASEAN訪日観光客対応セミナー」の開催(参加者59名)

2 大柱2 外国人観光客の誘客促進

(1) 外国語版ホームページ運営事業

海外向けに国別の観光客の嗜好に沿った情報を提供する観光ホームページを運営し、インターネットを通じた本県観光情報の発信強化を図った(発信言語数4言語<英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語>)。

(2) 海外プロモーション強化推進事業

外国人観光客の更なる誘客促進に向け、海外の観光展への出展や商談会の開催、海外の旅行会社及びメディア等の招聘事業など、国別の市場特性等に応じたプロモーション活動を実施した。

【主な取組】

- ア 海外旅行会社、メディアの招請(10回)
- イ 知事のトップセールス(台湾及びタイ)
- ウ 国際観光展への出展(4回)
- エ ムスリムセミナーの実施(2回)

(3) 羽田観光情報センター設置運営事業

首都圏の6県市が、羽田空港国際旅客線ターミナル内に設置した観光情報センターを共同で運営し、観光や交通に関する情報提供を通じて、外国人観光客の誘客促進を図った。

【主な取組】

- ア 羽田空港6県市観光情報センターの運営
- イ 外国人向け英文雑誌「Tokyo weekender」での神奈川県PRの実施(発行部数20,000部)
- ウ 外国人観光客に向けた観光情報センター案内表示の設置

3 大柱3 観光関連産業の成長促進

(1) 台湾における物産・観光展の開催

海外で県が主催し、県内の事業者が出展する物産展を台湾で初めて開催し、県内産農産物、加工品を中心とした物産の展示・販売を行った。

【主な取組】

- ア 「かながわフェア2013 in台湾」(台北市 27者出展)
- イ 「KANAGAWA WEEK in台中」(台中市 9者出展)

(2) 湘南ゴールドブランド化販売対策事業

県が独自に育成した新品種の柑橘である「湘南ゴールド」の魅力を引き出す取組を民間事業者と連携して行い、県西地域の活性化と県産農産物等のイメージアップに取り組んだ。

【主な取組】

- ア そごう横浜店、高島屋横浜店ほか百貨店における販売イベントの実施(4施設)
- イ 横浜、川崎、小田原、箱根のホテル等でのオリジナルスイーツの販売(15施設)

(3) かながわブランドアンテナショップ事業

かながわ産品・地産地消アンテナショップサイト「かなさんの畑」により県内産農産物等の紹介、販売などを行うほか、「かながわ屋」の店頭等におけるスポット販売を支援した。

【主な取組】

- ア アンテナショップサイト「かなさんの畑」におけるレシピコンテストの実施(地産地消レシピコンテスト、医食農同源ヘルシーレシピコンテスト)
- イ 県産品スポット販売支援の実施(1者5回)

(4) 地域農水産品魅力向上推進事業

潜在的な魅力を持つ地域独自の農水産品を発掘し、その美味しさを紹介することにより、新たな県産品の再発見をしてもらい、販売の促進につなげた。

【主な取組】

- ア 神奈川県産地域ブランドの発掘及び商品開発、販売促進(4種類)
- イ 足柄いちじくスイーツフェアの実施
- ウ 食の商談会(マッチング・コーディネート)の開催(1回)

(5) 観光プラットフォーム推進事業

宿泊・観光施設、交通等の観光事業者、観光関係団体、商工会・商工会議所等が連携して、総合的な観光の推進体制を運営するとともに、大学等との連携による観光人材の育成を図った。

【主な取組】

- ア かながわ移動観光大学の実施（ 3 か所）
- イ 観光大学シンポジウムの開催（ 1 回）
- ウ 「観光立県かながわ推進連絡会議」の開催（ 2 回）